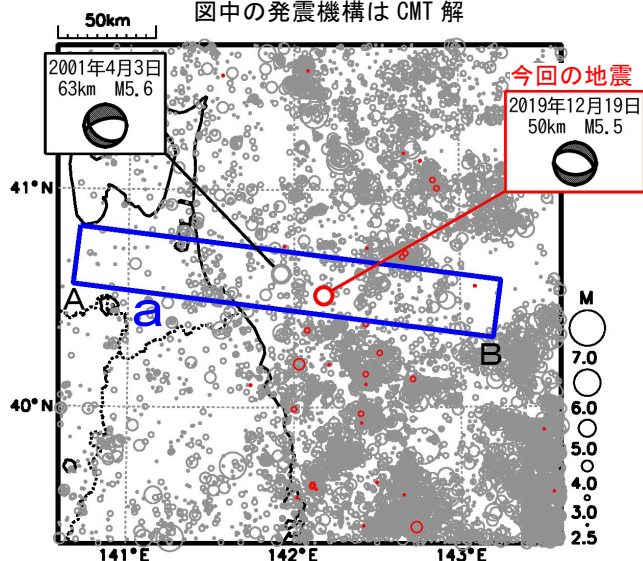


12月19日 青森県東方沖の地震

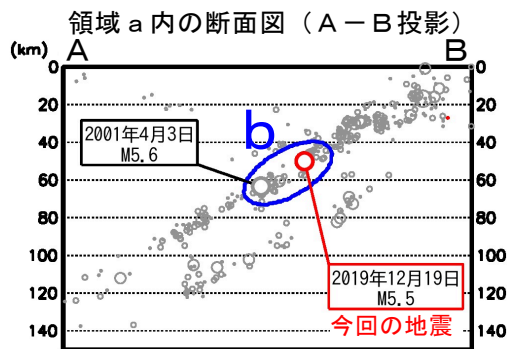
震央分布図
(1997年10月1日～2019年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)
2019年12月の地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解



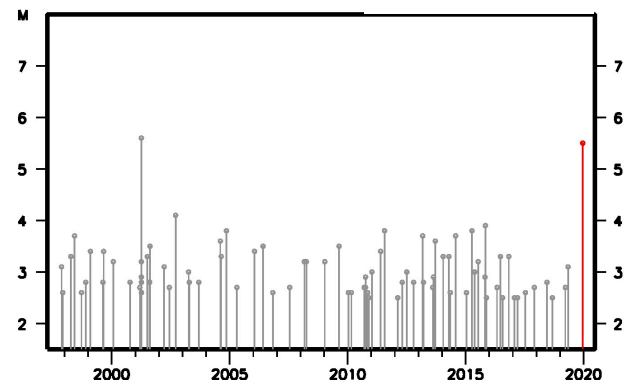
2019年12月19日15時21分に青森県東方沖の深さ50kmで $M5.5$ の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北東－南南西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では $M4.0$ 以上の地震はあまり発生していないが、2001年4月3日04時54分には $M5.6$ の地震（最大震度4）が発生した。

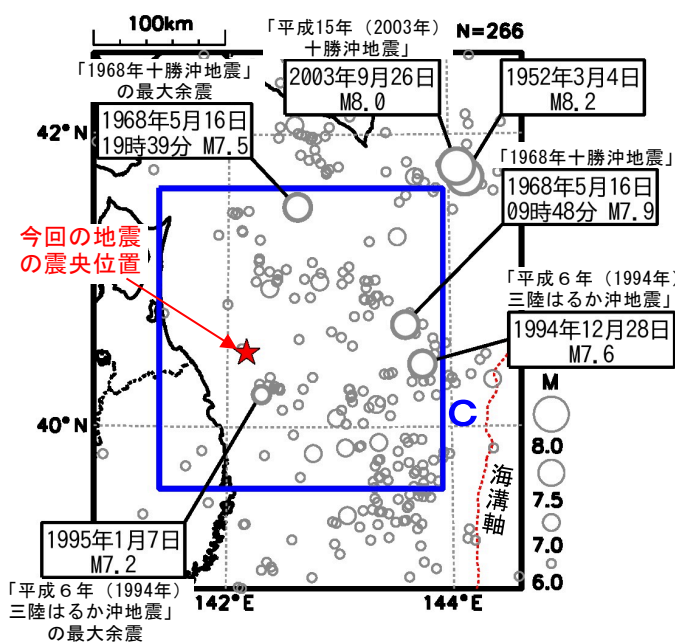
1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）は、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している領域で、1968年5月16日09時48分には「1968年十勝沖地震」（ $M7.9$ 、最大震度5）が発生した。この地震により、青森県八戸[火力発電所]で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



領域b内のM-T図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

